

第三次滋賀県情報システムサーバ統合基盤構築・運用保守業務に係る情報提供依頼（RFI）

滋賀県では情報システム（以下、「システム」という）の全体最適化の取り組みとして、従来、個別に整備、保守管理されてきたシステムの稼働環境を集約・一元化する「滋賀県情報システムサーバ統合基盤」（以下、「統合基盤」という）を導入し、複数のシステムで共用することにより、サーバやストレージといったシステム機器の利用効率の向上と、バックアップ、セキュリティ対策、OS・ソフトウェア管理などのシステム維持管理業務の集約・一元化を図り、システムの整備および運用管理における業務の効率化とコストの削減、およびシステム稼働環境の適正化を推進してきました。

令和7年2月に、現行統合基盤（以下、「第二次統合基盤」という）の運用期間が満了する予定であることから、次期統合基盤（以下、「第三次統合基盤」という）の整備方針を検討しています。

本情報提供依頼は第三次統合基盤の整備方針を決定するにあたり、IaaS または PaaS（以下、「IaaS/PaaS」という）を利用した新統合基盤の構築・運用保守の可否を判断し、その費用について、第二次統合基盤のハードウェア・ソフトウェアを更新して継続運用をする場合と比較するために、その内容および費用に関する情報の御提供、御意見、御提案をいただき、調達に係る参考資料とさせていただきます。

1 業務の名称

第三次滋賀県情報システムサーバ統合基盤構築・運用保守業務

2 業務の目的

システムの稼働環境を集約・一元化することで、システムの整備および運用管理における業務の効率化とコストの削減、およびシステム稼働環境の適正化を図るものです。

3 第三次統合基盤の要件

要件等を記載した資料（以下、「県仕様書案」という）については、御連絡いただいた方のみデータ配付しますので、末尾の本件連絡先までメールにて御連絡ください（会社名、会社住所、所属、氏名、電話番号、メールアドレスを記載してください）。

なお、配付する県仕様書案および別紙の情報は、現時点のものであり、情勢の変化や御提案を踏まえ、調達時に仕様を変更する場合があります。

4 情報提供依頼事項

下記の内容にて情報提供（資料の提出）をお願いします。資料の様式を示しているものについては、添付の様式で作成をお願いします。

なお、複数の御提案をいただける場合は、下記についてそれぞれ様式を作成していただくか、比較表等の補足資料により一括で御提案いただいても結構です。

(1) 回答書（様式1）

貴社名、本件連絡先および提出書類について記載をお願いします。

(2) 費用情報（様式2）

県仕様書案および御提案内容に基づき、費用について、下記に従い記載をお願いします。

ア 初期費用

① 第三次統合基盤の構築およびシステム移行費用について、様式2に記載の項目別に御記入ください。様式2での提示が難しい場合は、任意様式でも結構ですが、可能な限り費用項目別に御提示いただきますようお願いします。

② IaaS/PaaS への接続は専用線を想定しています。1Gbps Ethernet 2 系統の引き込み（県データセンタ場所は滋賀県大津市）に係る費用についても様式2にご記入ください。

③ 明細の提出が可能であれば添付をお願いします。

イ 運用費用

- ① 運用保守およびサービス利用料の月額および総額の記入をお願いします。

5年間運用を行う場合（必須）と、ハードウェア・ソフトウェアの更新なしで5年を超えて運用する場合の費用（任意）を記入してください。不具合発生率等の違いから、両方で月額単価が異なる可能性があることを想定しています。

- ② 上記、IaaS/PaaS への接続のための専用線使用料の月額および総額の記入をお願いします。
- ③ 明細の提出が可能であれば添付をお願いします。

ウ 追加費用

- ① 第三次統合基盤の運用開始後に、利用システムを追加する場合の、システム構築等の初期費用および運用保守費用の増額分を御記入ください。
- ② 第三次統合基盤の運用開始後に、利用システムを廃止する場合の、システム廃止等の費用および運用保守費用の減額分を御記入ください。
- ③ 重要システムのデータリカバリのための支援体制強化にかかる費用を御提案ください（詳細は県仕様書案を参照してください）。
- ④ その他、運用する中で追加が想定される費用（ハイパーバイザのバージョンアップ費用等）
- ⑤ 任意様式としますが、記載の粒度はアおよびイに準じてください。
- ⑥ 明細の提出が可能であれば添付をお願いします。

(3) 機能要件確認書（様式3）

第二次統合基盤の機能要件のうち、IaaS/PaaS 上での実現の可否について、御回答ください。

(4) 県仕様書案に対する御意見、御提案（様式4、任意）

県仕様書案の内容について、御意見、御提案がありましたら、内容ごとに記入をお願いします。提出は任意とします。また、内容の補足資料がありましたら添付をお願いします。

(5) 提案書（様式なし、任意）

提案を求めている項目および関連する内容について、提案書の提出をお願いします。御提案可能な項目のみでも結構です。

(6) 仕様書案（様式なし、任意）

県仕様書案を踏まえ、仕様書案の提出をお願いします。提出は任意とします。

5 資料の提供方法

(1) 提出方法

提出物の容量に応じて、メールまたは本県が運用管理するファイル転送システムにより、電子ファイル（Microsoft Word、Excel、PowerPoint（いずれも 2013）のいずれかで表示・印刷できる形式）で提出してください。

メールによる場合は、表題を「第三次滋賀県情報システムサーバ統合基盤 RFI 回答書在中（会社名）」とし、「4 情報提供依頼事項」で作成されたファイルを添付し、末尾の本件連絡先へ送付をお願いします。また、送付されましたら、到着確認の電話連絡をお願いします。

ファイル転送システムを利用される場合は、利用方法を別途説明しますので、末尾の本件連絡先へ御連絡ください。

(2) 受付期限

令和4年5月27日 17時到着分までとします。

※提案に時間を要する場合は、受付期限までにその旨を御連絡ください。

6 本件に係る質問

(1) 質問の方法

メール、電話、または対面にて質問を受け付けます（複数回でも可）。

メールの場合は、末尾の本件連絡先のメールアドレスへ送付願います。様式は任意とし、メール本文への質問の記載も可とします。メールの件名を「第三次滋賀県情報システムサーバ統合基盤 RFI 質問（質問者会社名）」としてください。

電話の場合は、末尾の本件連絡先の電話番号へ直接お問い合わせください。

対面を希望される場合は、日程調整を行いますので、末尾の本件連絡先へ希望日（候補日）と時間を御連絡ください。なお、日程調整は先着順としますので、対面の御希望に添えない場合がありますことを御了承ください。

(2) 受付期限

令和4年5月20日 17時到着分までとします。なお、対面を希望される場合は、日程調整の関係上、早めの御連絡をお願いします。

(3) その他

質問に対する回答については、原則として質問者（メールの場合は、質問送付のメールアドレス）へのみ回答させていただきます。

ただし、他の参加者（上記3にて御連絡いただいた方のうち、回答時点で、下記7にて回答を行わない旨の御連絡をいただいていない方）にも共有していただくべき情報であると判断した場合は、質問者は伏せうえで、全ての参加者のメールアドレス宛に質問、回答の共有を行いますことをあらかじめ御了承ください。質問の中で、企業秘密等、共有不可の箇所がある場合は、質問の際に示してください（質問の全てを共有不可とすることも可とします）。

7 配付資料について

本書および県仕様書案等の本件で配付した資料については、本情報提供依頼の回答作成にのみ利用することとし、回答終了後に破棄してください。また、回答を行わない場合は末尾の本件連絡先まで速やかに連絡後、資料は破棄してください。

8 提供情報について

- (1) 提供いただきました情報につきましては、構築・運用に向けた検討の資料として活用させていただきます。契約を前提としたものではありませんので、あらかじめ御了承ください。
- (2) 提供いただきました情報につきましては、より詳細な情報の提供を依頼させていただく場合がありますので、その際には御協力をお願いします。
- (3) 追加による情報提供も含め、本情報提供依頼に関する情報提供に関わる費用については、全て情報提供者において御負担をお願いします。
- (4) 御提出いただきました資料は返却しません。また、検討の過程で全部、または一部を必要部数コピーさせていただく場合がありますので、御了承ください。
- (5) 本情報提供依頼への参加・不参加によって、今後予定する第三次統合基盤に係る調達の参加および落札者決定に対する有利・不利はありません。
- (6) 資料について御説明をいただける場合は、日程調整を行いますので、事前に御連絡をお願いいたします。

9 本件連絡先

滋賀県総合企画部 DX 推進課 （担当：中森）
住所 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1
電話 077-528-3292
メールアドレス it-pmo@pref.shiga.lg.jp

以上